

第3回小中合同研究授業

今年度の研究主題は、「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成—課題発見・解決学習と体験活動の推進を通して—」と設定して、足並みを揃えて研究を進めていきました。

まず、5月25日(水)に広小学校で、令和4年度広中央中学校小中一貫教育推進協議会合同研修会(総会)を開き、研究主題や今年度の推進計画等を確認しました。

次に1学期には三坂地小学校で国語科、2学期には広中央中学校で家庭科の研究授業を行いました。そして、令和4年12月9日(金)に、広小学校5年2組徳永教諭と広中央中学校森重教諭による体育科「ラグビー」の研究授業を行いました。感染症対策に配慮し、広小学校の体育館で行いました。授業参観後の協議会では、「全学年で乗り入れ授業を参観することができてよかった。」「話し合い活動を活発化させるには、視点をあたえるとよい。」等の意見交流ができました。また、協議会後には、呉市教育委員会学校教育課小林良子指導主事様より「乗り入れ授業を中学校区で意図的に設定することで、校種の違い、中学校の専門的なポイントを生かせることを全職員で確認することができ有意義だった」等の助言をいただきました。研究授業を通して学んだことを、日々の授業に生かしています。

来年度も、「広中央中学校区の学校教育目標「学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの児童生徒の育成」を目指し、広中央中学校区で小中一貫教育を進めていきます。



調理実習と出前授業

令和5年2月28日(火)に、広中央中学校の三浦教諭と広小学校の矢野栄養教諭と、6年生が広小学校で家庭科の調理実習を行いました。

防災にも視点をおき「非常時における栄養のバランスを考えたおいしいオリジナルのみそ汁をつくる」をめあてにして行いました。

午後からは、広中央中学校の松田校長先生と三浦先生による、「中学校生活」について出前授業をしていただきました。「中学校生活の不安がなくなり、楽しみが増えました。」と、子ども達も中学校生活への期待が高まりました。



算数科乗り入れ授業

令和5年3月10日(金)に、広中央中学校の正川主幹教諭が三坂地小学校6年生に算数科「決まりのウラを読みあてよう!」の乗り入れ授業を行いました。

子ども達は、中学校の先生のテンポ良い授業に引き込まれ、「どんな秘密がかけているのだろう」と真剣に考え、どんどん意見を出していました。

「算数が楽しくなった。」「中学校で勉強するのが楽しみです。」と中学校に向けて意欲が高まりました。

